

志波城だより

～いにしへの風にあう～

Vol.10 H24.5.25号

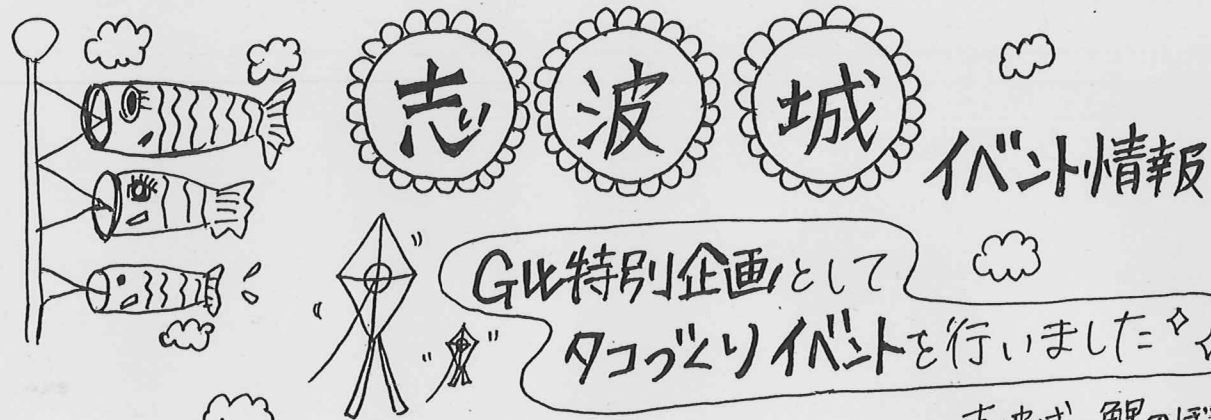
盛岡市教育委員会 発行

担当 歴史文化課(019)-639-9067

発行 志波城古代公園(019)-658-1710

みなさん こんにちは、今号で10号目となる「志波城だより」です。

志波城古代公園にはスイセンやタンポポ、スミレなどの花が咲き とても賑やかです。雄大な岩手山と力強い外郭南門をバックに写真をとってみませんか？ きっと素敵なお宝になりますよ。



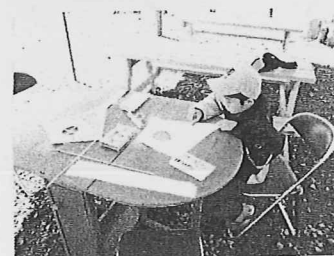
4月28日(土)～5月6日(日)までの9日間
志波城古代公園で「タコを作ってあげよう!!」
特別イベントを行いました。

近年 電柱や鉄塔などで「風を上げる場所」が
少なくなりました。今回 志波城の広大な園内で
手づくりの風を作って上げられるということに、沢山の
親子連れに楽しんでいただきました。



広大な園内で
岩手山をバックに
子供達も風も
大喜びです。

志波城の鯉のぼり



志波城が造営されたのは今から約1200年前の803年
その頃の人達はどんな食事をしていたのでしょうか？



古代人の食生活へタイムスリップ



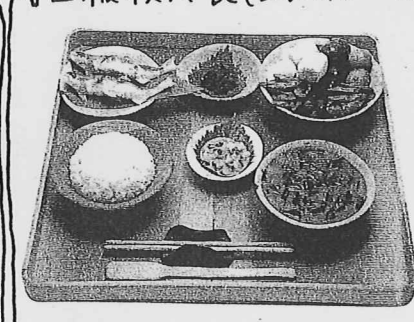
今から約1200年前 平安時代の日本は「律令国家」という
天皇を中心とした国づくりが行われていました。

豪華な貴族の食生活



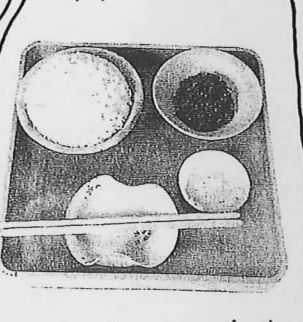
地方から税として都に納められ
た食料の種類は数多く
現代人でもびっくりするほど
とても豊富だったようです。
デザート・お酒つき!!

上級役人食(五位以上の貴族)



目黒沢城では將軍だけが
これを食べたようです。
・白米のご飯・おゆの塩
・焼き・しゃぶ肉のすまし
など

下級役人食



位に合った食事
だったため、下級役
人食はなんだか
とても粗末ですね...
白米ではなく玄米

庶民の食生活... 力仕事をする人や兵士の食事は下級役人食より
さらにまずい食事だったか? シカなどの動物タンパクや
新鮮な野菜を食べていたようです。健康的!!



古代の食事の調味料

- ・塩
- ・みお(しょうゆに似ている)
- ・酢
- ・さんしょう(しょうがい菜)

食事の回数

- ・貴族
⇒ 朝・夕の2回
- ・兵士(戦いの時)
⇒ 3回
- ・庶民 ⇒ 2回

古代チーズ?! 『そ』

- ・『そ』はヤギなどの乳を7時間
ほど煮つめて作ったもので
甘味のないクリームチーズに
似ている ⇒ 「すまし」
- ・乾燥させたもの ⇒ 「かみそ」
- ・発酵させたもの ⇒ 「じゅくそ」

「志波城だより」は志波城古代公園活用事業の一環として発行しております。